

『夢を織る』

早島中学校 学校だより

令和元年 7月12日

新しいクラスで新しい仲間と出会い、修学旅行などの学年研修、体育会、備南東大会などをやり遂げた、思い出深い1学期もあと少しで終わりです。

さて、登校中の出来事について、地域の方からお手紙をいただきましたのでご紹介させていただきます。

ある朝の出来事です。生活ごみの収集日なので、近所から寄せてきた落ち葉等沢山のゴミを2個の袋に入れ台車に乗せ、段差のある道路に出ようと動いた瞬間に荷が崩れ落ちかけました。

その時、たまたま自転車で通学途中の中学の男子生徒が通り過ぎました。そのあと10m位過ぎたところで引き返してきたのです。道路幅も充分で接触したものでもなく、私は「彼が忘れ物でもしたのかな。」と思いざまに、落ちたごみ袋を拾い上げる姿勢を取りかけたので一瞬は驚きました。「有難う。大丈夫ですよ。行って頂戴。」という言葉が精一杯で胸が熱くなりました。

足元もおぼつかなく背中を丸めた老婆に、瞬間の判断と行動のできる素晴らしい心のそなわった、これからの世代の若い人がいてくれると思うと、この小さな早島町という自治体を大切に守り通していく事は大人の責任だと思いませんか。

何気ない登校風景の一コマですが、心が温まります。男子生徒にも手紙をくださったおばあさんにも感謝です。

体育大会の全体写真です。生徒、職員の充実した笑顔が印象的です。夏休み、そして2学期に向け、暑さに負けず夏を乗り切りましょう。

